

# 生徒が楽しく スポーツをするには 指導者と生徒へ向けた政策

桐蔭横浜大学 Hチーム

関口隆平 清水綾乃 松本昂大 北村太陽

# 目次

1. 緒言
2. 現状
3. 提言内容
4. 今後の展望

# 1. 緒言

- ▶平成24年12月
- ▶大阪市立桜宮高校
- ▶顧問による体罰問題

- ▶ 被害者は同校バスケ部主将の男子生徒（当時17歳）
- ▶ 同部元顧問（当時47歳）から多くの暴行を受ける。
- ▶ これらの暴行により生徒は自殺してしまった。

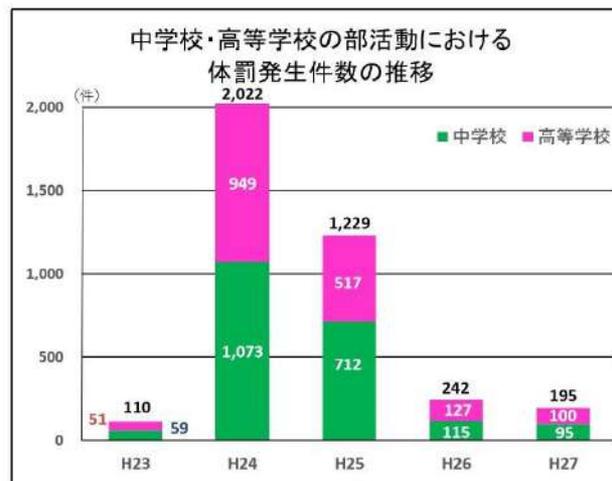
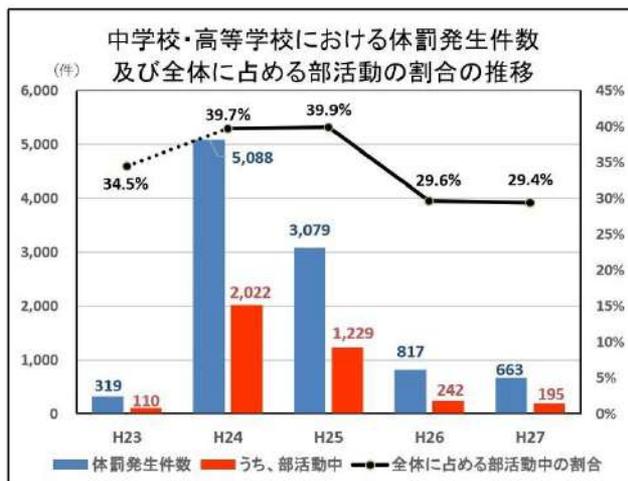
# 部活動における体罰の発生状況



## 部活動における体罰の発生状況

資料1

- 平成24年度の体罰総数は、平成24年12月に、部活動中の体罰が背景にある生徒の自殺事案が発生したことを受け、詳細な実態調査を行った結果、前年度から大幅に増加。
- 平成25年度以降は、平成24年度をピークに減少。
- さらに、平成26年度以降、全体に占める部活動の割合は、対平成25年度比で約10%減少。



体罰発生件数の内訳

<中学校>					<高等学校>						
	H23	H24	H25	H26	H27		H23	H24	H25	H26	H27
国立	—	7	3	1	1	国立	—	1	1	1	0
公立	180	2,552	1,819	432	326	公立	139	1,299	1,047	220	179
私立	—	246	41	33	41	私立	—	983	168	130	116

部活動における体罰発生件数の内訳

<中学校>					<高等学校>						
	H23	H24	H25	H26	H27		H23	H24	H25	H26	H27
国立	—	0	1	1	0	国立	—	1	0	1	0
公立	59	1,023	701	111	94	公立	51	576	454	83	58
私立	—	50	10	3	1	私立	—	372	63	43	42

(出典)文部科学省初等中等教育局「平成23年度公立学校教職員の人事行政状況調査」及び「体罰の実態把握について(平成24~27年度)」を基に、スポーツ庁で作成  
 ※平成23年度は公立学校のための数字。高等学校における発生件数については、中等教育学校において発生したものを含む。

体罰とは？

体罰とは？

- 教員が児童、生徒に対して、戒めるべき言動を再び繰り返させないという、教育目的に基づく行為や制裁を行うことを懲戒という。

- ・懲戒には、事実行為としての注  
意、警告、叱責、説論、訓戒や法  
的効果をもたらす訓告、停学、退  
学の処分がある。



・懲戒のうち教員が児童・生徒の身体に、直接的または間接的に肉体的苦痛を与える行為を**体罰**という。

・**体罰**は、その態様により、傷害行為、危険な暴力行為、暴力行為に分類される。また、暴言や行き過ぎた指導は、体罰概念に含まれないが、体罰と同様に、教育上不適切な行為であり、許されないものである。

・**体罰**には、たたく、殴る、蹴る等の有形（目に見える物理的な力）の行使によるものと、長時間正座や起立をさせる等の有形力を行使しないものがある。

いずれも法によって禁じられている。

引用：体罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について（通知） 文部科学省  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/1331907.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1331907.htm)

# 事例

事例



# 事例①

- ▶ 平成30年10月京都府長岡京市の府立乙訓高校の陸上競技部顧問の**男性教諭(50)**が**男子部員(17)**に対し、練習に遅れたという理由で部員を後ろ向きに立たせて尻を蹴ろうとしたところ、かばった左腕にあたり、骨折させた。

# 事例②

- ▶ 平成30年10月大阪市立中の女子バレーボール部顧問だった**男性教諭**が部員の**女子生徒**に「お前のせいで負けた」と言い、女子生徒の**顔面にボールをぶつけた。**

# 事例③

- ▶ 平成17年10月 京都府京田辺市内で、少年野球チームの少年(当時13)が、監督(当時63)から試合に負けた「ペナルティー」として科された練習中に倒れた。

引用:体罰裁判一覧

<http://www.jca.apc.org/praca/takeda/pdf/201602%20taibatsuhanreiichiran.pdf>

# 何故

何故

# 無くなならない



# 国民性

# 日本人



- ・勤勉
- ・清潔
- ・ひかえめ
- ・几帳面
- ・親切

引用: 日本人の国民性調査と国際比較調査

[http://www.ism.ac.jp/ism\\_info\\_j/kokuminsei.html](http://www.ism.ac.jp/ism_info_j/kokuminsei.html)

# 日本人



「閉鎖的な村社会」の  
住人であるという負の  
面を忘れてはいけない。

引用: NHK クローズアップ現代+  
<http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3308/1.html>

**「国民性」**の側面が、  
**「体罰」**という形をとって  
執拗に現れている

# 2.現状

# 体罰が表面化されなかった理由

## 体罰



効率的な指導法の一つとして

**黙認**されてきた

叩いて伸ばす教育方法

# 日本の文化

保護者 → 子供



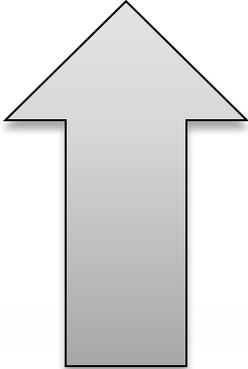
我が子を卑下し  
厳しい指導を要求



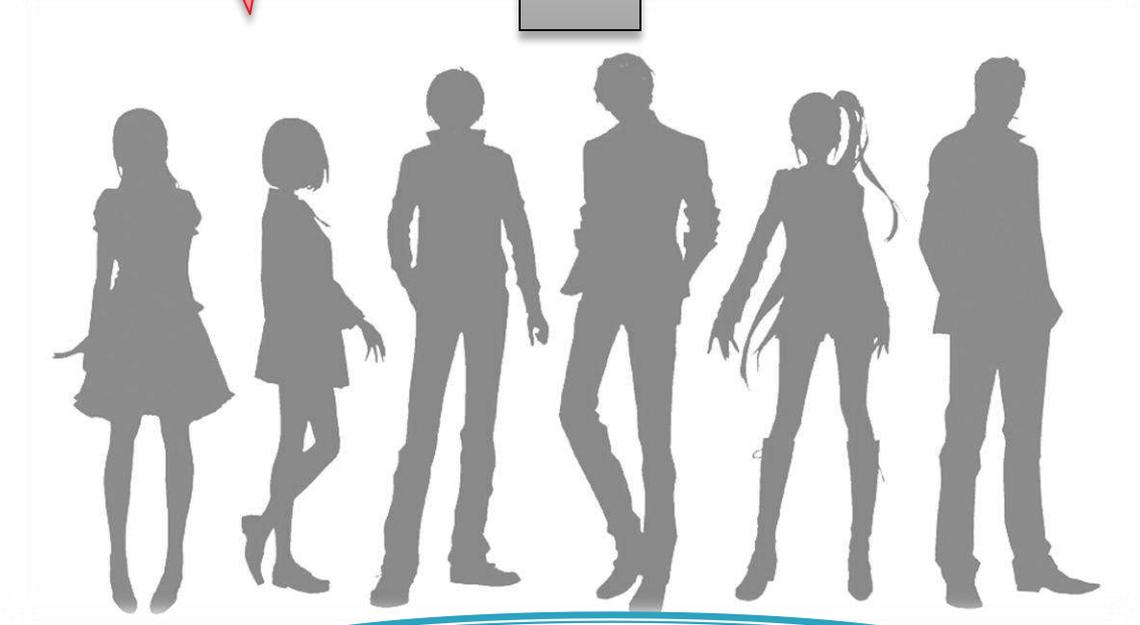


良い成績を残さなきゃ!

フレッシュャー



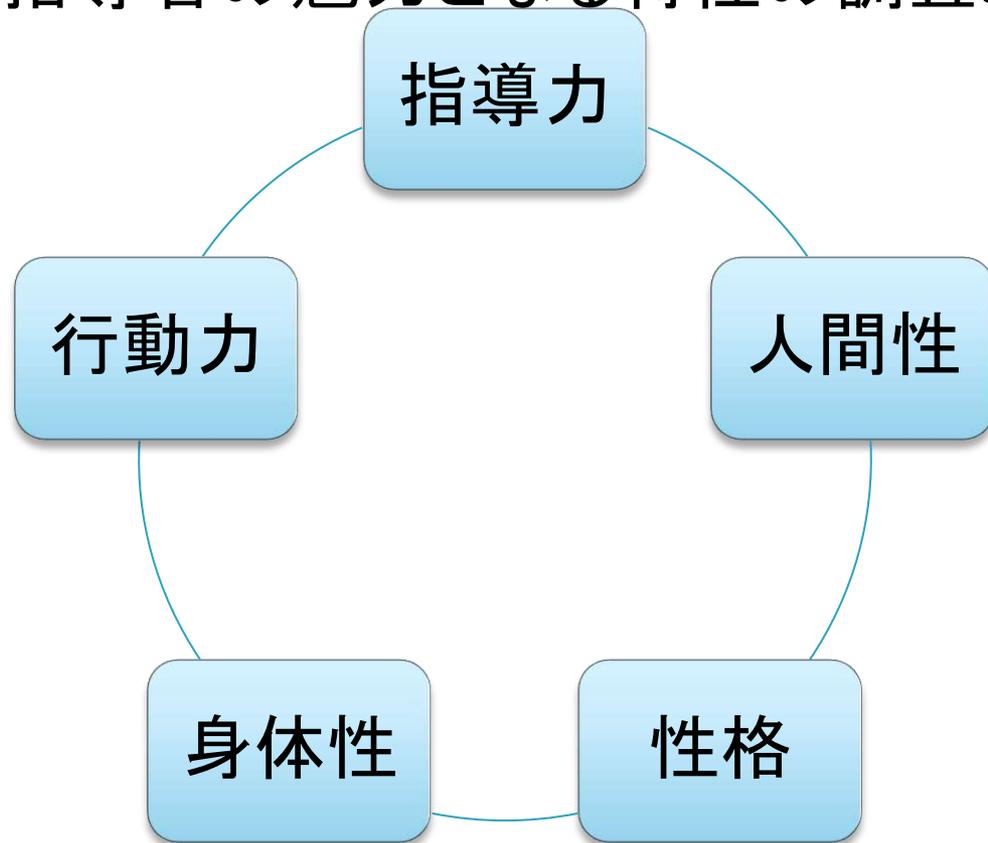
期待



周囲の人間

# 魅力的なコーチとは？

- ▶ スポーツ指導者の魅力となる特性の調査結果

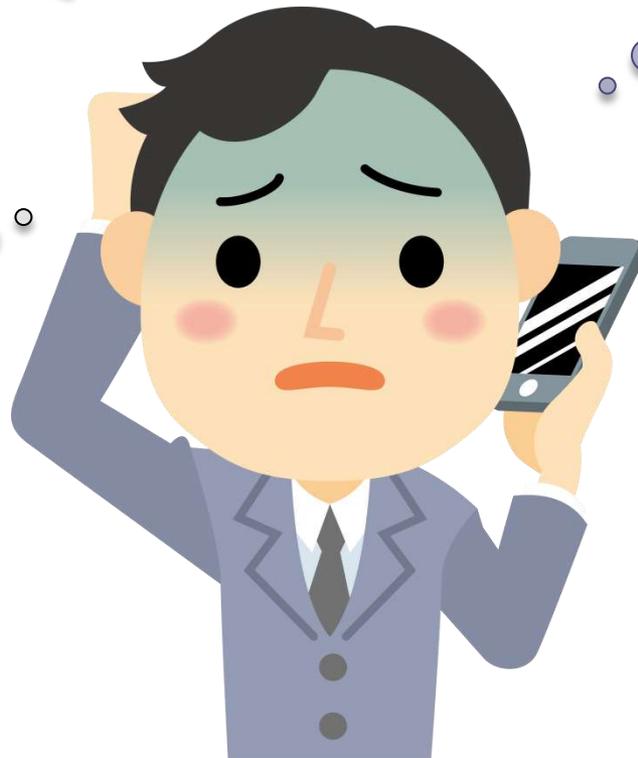


引用: 藤田厚『コーチングの心理Q&A日本スポーツ心理学会編』  
不味堂出版 pp.20-21

**見つからない!**

**どこに?**

**誰に?**



どうすれば

**解消**される？



# 生徒の人権

尊重した指導法の拡散

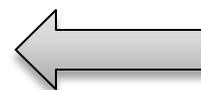


**第三者**

**可視化**

**指導内容**

**指導状況**



理解

体罰

定義を広く認識させる

# 簡単に**NO**と言える環境づくり



© 2011 株式会社

# 3.提言内容

# 提言内容

1. 教師間での定義理解と共通の認識の徹底
2. 生徒への体罰に関する教育と逃げ場の作成
3. 保護者へのスポーツ指導の講習会と、保護者への講習

# 1.教師間での定義理解と共通の認識徹底

ア)全教員に対し、年度初めに体罰禁止を徹底する



# 1.教師間での定義理解と共通の認識の徹底

## イ) 体罰防止への新たな校内研修の展開の実施

他部活の顧問との意見  
交換  
先生や外部指導者への  
アンケート



# 1.教師間での定義理解と共通の認識の徹底

ウ)校長等管理職への指導環境のマネジメント化

- 管理職から指導環境や意見提供をする。

## 2.生徒への体罰に関する教育と逃げ場

ア)体罰が何か、生徒に十分に理解させるためのガイドライン  
を活用



体罰とは  
何がダメなのか？  
もし、受けたと感じた場合は  
...

## 2.生徒への体罰に関する教育と逃げ場

### イ) 体罰等、実施把握調査の実施・継続化



匿名アンケート  
定期的な実施  
継続化

## 2.生徒への体罰に関する教育と逃げ場

### ウ)体罰根絶の考え方の教育指導



### 3.指導者へのスポーツ指導の講習会と、 保護者への講習

ア)保護者等への学校公開や授業参観への一層の推進



授業参観以外も部活動  
や学校公開の場を別に  
設ける

### 3.指導者へのスポーツ指導の講習会と、 保護者への講習

- イ) 体罰事案への報告方法の統一や、顧問教諭に対する講習会等への実施
- 講習会に参加することで新たな考え方や、指導法の参考へ

### 3.指導者へのスポーツ指導の講習会と、 保護者への講習

ウ)海外研修から指導力向上に繋がる経験の獲得



日本との違い  
現地での指導方法  
法律

....

# スウェーデンへの海外研修

- 1979年から体罰を法律で禁止
  - 体罰を減らすことに成功！
  - 既に35年以上体罰を禁止し時間が経っている
- 旅費は1人当たり20万以上
  - 国の教育に対する予算を増加

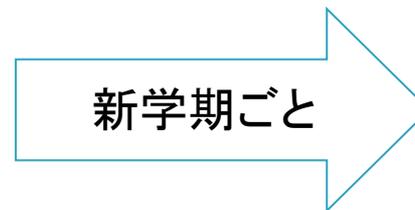
引用: 我が国の教育行財政について  
<https://www.kantai.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/bunaka/dai3/dai1/siryou4.pdf>

# 海外研修

- JOC(Japan Olympic committee)が既に世界中に研修員を派遣しているが、帰国後直ぐにJOCのスタッフとして活動しなければならない
- 問題としている地域のスポーツクラブ、部活動時に行われる体罰を無くすという効果は期待できない

### 3.指導者へのスポーツ指導の講習会と、 保護者への講習

エ) 運動部単位で、保護者等との意見交換会の開催



# 4. 今後の展望

# 今後の展望

- ▶ 体罰の根絶へ
- ▶ 生徒と指導者のコミュニケーション能力はより必須
- ▶ 公的でもない組織でも活用できる環境作りや法制定

明るい指導現場が広がり  
優秀な日本の選手や指導者が育成されるに  
違いない！



# 引用参考文献

- ▶ スポーツ庁 - 部活動における体罰の発生状況について  
[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/shingi/013\\_index/shiryo/\\_\\_icsFfiles/afieldfile/2017/07/21/1388097\\_01.pdf](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/013_index/shiryo/__icsFfiles/afieldfile/2017/07/21/1388097_01.pdf)
- ▶ 文部科学省 - 初等中等教育局長通知 (18 文科第 1019 号)  
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/dail/siryoyou4-2.pdf>
- ▶ セーフ・ザ・チルドレンシンポジウム「体罰のない、ポジティブな子育てを～『長くつ下のピッピ』の作者とスウェーデンの子ども観に学ぶ～」～WRL0489.tmp
- ▶ 日本オリンピック委員会 (JOC) 公式サイト—スポーツ指導者海外研修事業実施要項  
[https://www.joc.or.jp/training/foreign\\_trainee/about/index.html](https://www.joc.or.jp/training/foreign_trainee/about/index.html)
- ▶ 体罰を全面禁止している国一覧  
[http://www8.cao.go.jp/youth/suisin/working-team/k\\_4/pdf/ssl.pdf](http://www8.cao.go.jp/youth/suisin/working-team/k_4/pdf/ssl.pdf)
- ▶ 体罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について (通知)  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/1331907.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1331907.htm)

- ▶ 近藤龍彰「体罰の近年の傾向と今後の課題」富山大学人間発達科学研究実践総合センター紀要 教育実践研究 No. 12:1-6
- ▶ 藤田厚：『コーチングの心理Q & A 日本スポーツ心理学会編』 不味堂出版 pp. 20-21
- ▶ 森川貞夫著：『地域に生きるスポーツクラブ』 株式会社国土社 pp. 100-106
- ▶ 体罰ニュースまとめ - ライブドアニュース  
[http://new.livedoor.com/lite/体罰/topics\\_keyword/2990/](http://new.livedoor.com/lite/体罰/topics_keyword/2990/)
- ▶ NHK クローズアップ現代+  
<http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3308/1.html>
- ▶ 日本人の国民性調査と国際比較調査  
[http://www.ism.ac.jp/ism\\_info\\_j/kokuminsei.html](http://www.ism.ac.jp/ism_info_j/kokuminsei.html)